

# 葉っぱでバッグを飾りましょう！

## ■プログラムの概要

ねらい	自然物（落ち葉やどんぐりなど）を使ったバッグ作りを通して、親子で秋の自然に親しむ		
キーワード	身近な自然		
対象	乳幼児親子		
時間	30分～40分	実施場所	児童館ホールまたは部屋
使用するもの	落ち葉、どんぐり、まつぼっくり、牛乳パック、油性マジック、ビニールひも（スズランテープ）、セロハンテープ、両面テープ、ガムテープ、養生テープ、マスキングテープなど		
全体の流れ	<p>&lt;葉っぱ集め&gt;          事前準備として親子で近隣の公園で落ち葉やどんぐりを拾ってくる。イチヨウやカエデ、桜や柿など色のついた落ち葉やどんぐりなど。児童館でも大量の落ち葉をストックしておく。</p> <p>&lt;導入&gt;          1 「どんぐりころころ」や「果物列車」の歌、手遊びなどを行う。          （ペープサートなど利用）          2 各家庭で拾ってきた落ち葉を見せ合う（拾った場所なども発表する）</p> <p>&lt;バッグ作り&gt;          3 ビニールひも（スズランテープ）を保護者が三つ編みしバッグの持ち手を作り、牛乳パックの穴に通す。          4 親子で拾ってきた落ち葉をバッグの周りに貼っていく。          5 仕上げにマスキングテープや油性マジックなどで名前を書いたり、自由に飾りつけをする。          6 発表・ふりかえり          作品の発表と保護者が感じたことなどを共有する。</p>		

## ■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
当日までに	<p>&lt;親子で葉っぱ集め&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パパにも協力してもらう</li> <li>・葉っぱの大きさ、形、色など違いがある葉っぱを集める。</li> </ul> <p>&lt;牛乳パックの下準備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半分にカットし、下半分を使用。</li> <li>・牛乳パックの上部に持ち手となるひもを通すための穴をあけておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数種類の葉っぱを集める。</li> <li>・色付きの良いもの。</li> <li>・ある程度の大きさのもの。</li> </ul>
10分	<p>&lt;導入&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋に関する歌や手遊び。 (どんぐりころころ・果物列車など)</li> <li>・秋についてのお話をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペープサートやパネルシアターなどを用い乳児でもわかる簡単なお話や歌を歌ったりする。キーボードなどを使ってもよい。</li> </ul>
15分	<p>&lt;バッグ作り(前半)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者がビニールひも(スズランテープ)で三つ編みを作り、牛乳パックの穴に通して持ち手を付ける。</li> <li>・親子で拾ってきた落ち葉を見せ合ったりどこで拾ってきたかを発表しあう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三つ編みは、指導員や保護者同士で端を持つなど協力しあう。</li> <li>・発表は、出席人数によって時間がかかってしまうので一人当たりの時間は参加人数で配慮する。</li> </ul>
15分	<p>&lt;バッグ作り(後半)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拾ってきた落ち葉を牛乳パックの周りに貼り、飾りつけをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つきにくいところは養生テープや両面テープなどで貼っていく。</li> <li>・子どもの年齢によって油性マジックやマスキングテープで飾ってもよい。</li> </ul>
5分	<p>&lt;発表・ふりかえり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作った作品を見せ合い、発表する。</li> <li>・今日の活動で、保護者が感じたことや子どもの様子を共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できた人から順番に発表してもらう。</li> <li>・ふりかえりを重視する。</li> </ul>

## ■使用するもの

物 品 名	数 量	備 考
落ち葉	1人10枚程度	・参加者に事前に拾ってきてもらう。児童館でもストックを用意しておく。 ・どんぐりや松ぼっくりは、拾えれば可。
どんぐり 松ぼっくり	1人2~3個	
牛乳パック	参加人数分	半分にカットし、下半分を使用。 上部に持ち手を通すための、穴を2か所あけておく。
ビニールひも（スズランテープ）	30cm×3	バッグの持ち手用。あらかじめ3本一束にしておく。
セロハンテープなどのテープ類	必要数	葉っぱを貼る際に使用。両面テープ、ガムテープ、養生テープなどでも可。
マスキングテープ	数個	バッグの飾り付け用。
油性マジック	必要数	

## ■実施にあたって留意する点

- ・親子で落ち葉やどんぐりを拾ってくる活動も、このプログラムのねらいの感性を揺さぶる活動のため、事前に落ち葉などを拾ってきてほしい旨を知らせておけるとよい。
- ・牛乳パックはあらかじめ近隣保育園に声をかけておき洗って下処理しておく。  
（参加者にアレルギー児がいないかの確認をし、もしいた場合は牛乳パックはやめる。）  
➡代替え案としてペットボトル使用。この場合は切り口をしっかりとビニールテープでくるみけがないように配慮する。
- ・落ち葉を拾ってこなかったり、日が経ちすぎて葉がカサカサになったりすることが予想されるので職員側で用意するものはなるべく新しいものとする。
- ・作業時に、乳幼児が、どんぐりなどを口に入れることが無いよう十分に注意する。
- ・乳児親子の場合、椅子・テーブルではなくビニールシートの上などで行ってもよい。